

〈2022年度〉

南山大学・豊田工業大学 連携講演会

参加費
無料

テーマ

情報化社会における ことばの可能性と 役割について考える ～人工知能のことばと、人間のことば～

日時・会場

12月4日

10:00～12:30 (9:30開場)

豊田工業大学
豊田喜一郎記念ホール

スケジュール

- 10:00～10:10 開催挨拶、連携紹介
- 10:10～11:00 講演 01
- 11:00～11:10 休憩
- 11:10～12:00 講演 02
- 12:00～12:30 終了の挨拶、アンケート記入

講演 01

ことばの分かる 人工知能を目指して

豊田工業大学 / 工学部 知能数理研究室

三輪 誠 准教授

専門: AI、自然言語処理、深層学習



近年、コンピュータでことばを扱う人工知能の技術は急速に発展し、音声アシスタントや機械翻訳など、実際のサービスでも幅広く利用されるようになってきています。このような発展の裏側には、人工ニューラルネットワークを基盤に大規模な言語データからことばの性質をコンピュータが「学習」する大規模言語モデルとよばれる巨大な計算モデルと、その学習を可能にする大規模な計算資源が基盤になっています。今回の講演では、このようなことばを扱う人工知能がどのように発展し、実現されているのか、ことばのわかる人工知能に向けて、このような最先端の技術を使うと何ができて、何ができないのかについて、わかりやすく説明したいとおもいます。

講演 02

情報化社会における 攻撃的言語使用

南山大学 / 人文学部 人類文化学科

和泉 悠 准教授

専門: 言語哲学・意味論



私たち人間の言語は社会的に使われます。「愛知県の年間降水量は〇〇です」のように、情報を交換することばかりが言語の役割ではありません。私たちは言語を使い、あいさつする、約束する、そそのかす、へつらう、揶揄するといった、社会生活を維持するための行為をします。そうした行為の中でも、悪口や誹謗中傷といった攻撃的言語使用はどのように理解されるべきなのでしょうか。哲学・言語学・文化人類学といったさまざまな領域の研究を踏まえて考えてみます。また、現在は特に、インターネット上でのそうした攻撃的言語使用が問題になっています。いわゆるAI技術によって攻撃的言語使用を制限する可能性と課題についても検討します。

申込方法

受付フォームによる事前申込が必要です。
先着順で定員(120名)になり次第、締め切りますのでお早めにお申込ください。

●申込期間 11月7日(月)～11月28日(月)
※ただし、定員に達し次第、申込を締め切ります。

定員 **120名**
(先着順)

申込先

豊田工業大学Webページ <https://www.toyota-ti.ac.jp/event/study/001986.html>

受付が完了すると「受付完了メール(受講票)」が登録したメールアドレスに自動返信されます。
当日、受付時にこの「受付完了メール(受講票)」を表示した端末画面または印刷したものを担当者にご提示くださいますようお願いいたします。



感染症対策で協力をお願いします

- マスクの着用、手指消毒のご協力をお願いします。
 - 入場時に検温を実施します。37.5度以上ある方はご入場できませんので、予めご了承ください。
- 注意事項: 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催方法を変更または中止とする可能性があります。

アクセス



【公共交通機関でお越しの場合】

- 名古屋・金山駅 地下鉄桜通線「相生山駅」下車
1番出口から徒歩10分
- 豊田・赤池方面から 地下鉄鶴舞線「原駅」下車、2番出口から
市バス幹線原1系統(相生山住宅・島田一ツ山行き)
「高坂小学校」下車、徒歩10分

〒468-8511 名古屋市天白区久方2-12-1

お問い合わせ先 南山大学 広報・募金課 TEL 052-832-3113 豊田工業大学 渉外広報グループ TEL 052-809-1764

個人情報の取扱いについて: 収集した個人情報は、受講受付、受講者リストの作成、講座受付、今後の講座等のご案内のために利用します。



南山大学



学校法人 トヨタ学園
豊田工業大学